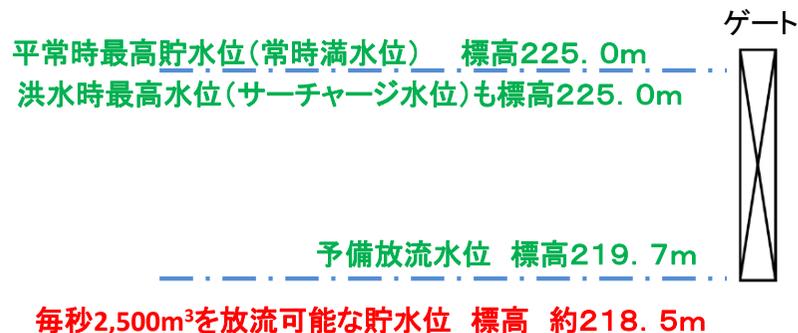
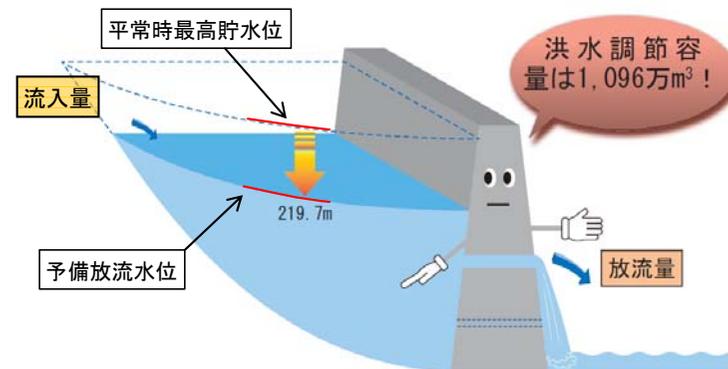


Q1) 予備放流について

予備放流とは？

洪水が予想される場合に、平常時最高貯水位（常時満水位）から予備放流水位まで水位を下げることによって、必要な洪水調節容量を確保するもの。



毎秒2,500m³の水をダムから流すには、ゲートの部分で約8mの水深が必要です。

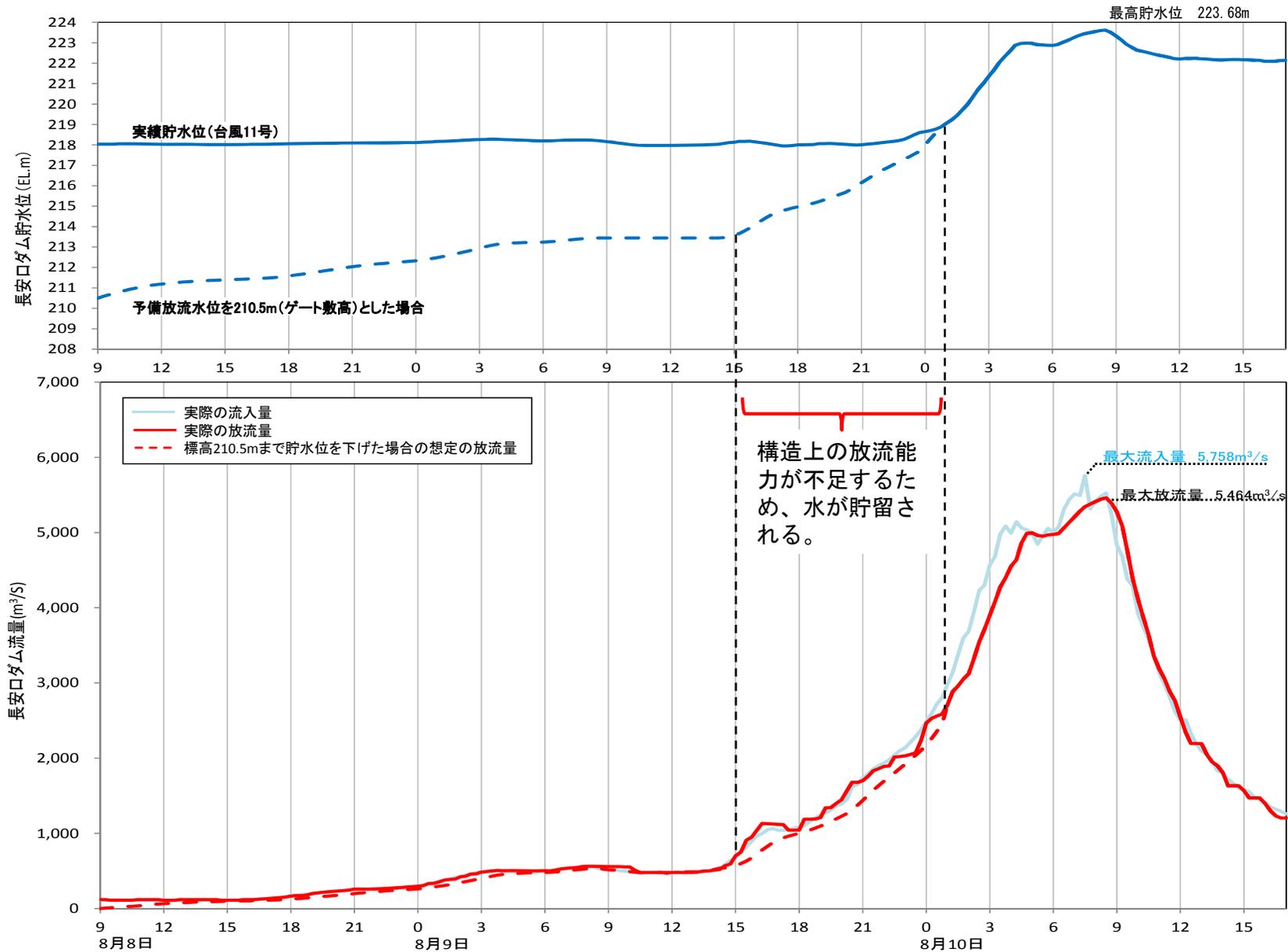
約8m必要

毎秒2,500m³

放流量(ゲートから放流する量)

Q1) 予備放流について

台風11号において予備放流水位を更に下げた場合（想定）



仮に、ダム貯水位をゲートの敷高(標高210.5m)まで下げていたとしても、『洪水調節を開始する流入量(毎秒2,500m³)に達するまでの操作』の過程で貯水位は上昇し、洪水調節開始時の貯水位は標高218.5mとなる。